

BEST AVAILABLE COPY

12: Utility Model Publication

11: Publication No: H05-58922

43: Publication Date: August 3, 1993

54: Title of the invention: Coupling structure of Bracket

21: Filing No.: H04-1781

22: Filing Date: January 22, 1992

72: Inventor: Ichiro Yasue

71: Applicant: YAZAKI CORPORATION

Summary of the publication

[Object]

To provide a coupling structure of a bracket capable of obtaining a high-strength coupling state.

[Construction]

A bracket includes a pair of elastic guide rails 7a and 7b to which a plate bracket 5 having an engaging hole 11 is inserted, and a locking projection 9 which is provided at outer surface of a mounted body 15 between the guide rails and with which the engaging hole is engaged by making the plate bracket climb over the engaging hole through elastic displacement of the guide rail 7a and 7b. A coupling portion 17 which couples an insertion starting end side 13 of the pair of guide rails 7a and 7b integrally is provided and the locking projection 9 is arranged rearwardly from the coupling portion in an insertion direction.

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平5-58922

(43) 公開日 平成5年(1993)8月3日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
F 1 6 B 5/10	H	7127-3 J		
B 6 0 R 16/02	B	2105-3 D		
H 0 5 K 7/12	S	7301-4 E		
	J	7301-4 E		

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 4 頁)

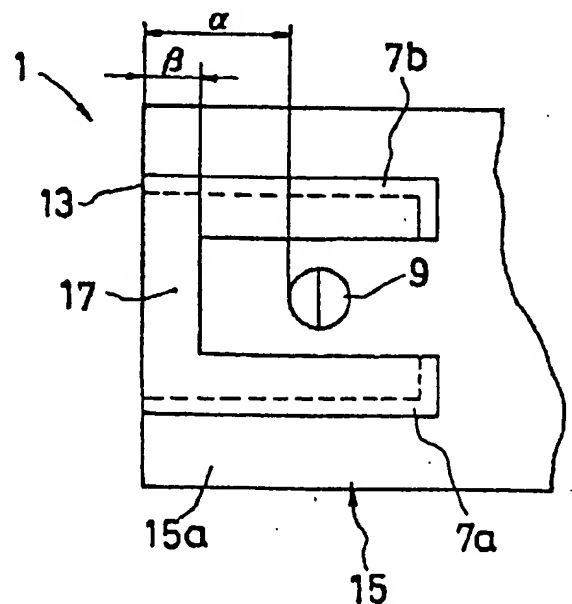
(21) 出願番号	実願平4-1781	(71) 出願人	000006895 矢崎総業株式会社 東京都港区三田1丁目4番28号
(22) 出願日	平成4年(1992)1月22日	(72) 考案者	安江 一郎 静岡県湖西市鷺津2464-48 矢崎部品株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 三好 秀和 (外4名)

(54) 【考案の名称】 ブラケットの連結構造

(57) 【要約】

【目的】 強固な連結状態を得ることのできるブラケットの連結構造の提供を目的とする。

【構成】 被取付体の外面に設けられ取付相手側の係合孔を有した板状ブラケットを挿入させる一対の可撓性のガイドレール7 a、7 bと、このガイドレール7 a、7 b間で前記被取付体15の外面に設けられ前記ガイドレール7 a、7 bの撓みを介して前記板状ブラケットを乗り越えさせ前記係合孔に嵌合係止される係止突起9とよりなるブラケットにおいて、前記一対のガイドレール7 a、7 bの挿入始端側13を一体に連結する連結部17を設け、前記係止突起9を前記連結部17よりも挿入方向後方側に配置したことを特徴とする。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 被取付体の外面に設けられ取付相手側の係合孔を有した板状ブラケットを挿入させる一対の可撓性のガイドレールと、このガイドレール間で前記被取付体の外面に設けられ前記ガイドレールの撓みを介して前記板状ブラケットを乗り越えさせ前記係合孔に底合係止される係止突起とよりなるブラケットにおいて、前記一対のガイドレールの挿入始端側を橋渡すように一体に連結する連結部を設け、前記係止突起を前記連結部よりも挿入方向後方側に配置したことを特徴とするブラケットの連結構造。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案の一実施例に係る要部斜視図である。

【図2】 一実施例に係る要部平面図である。

【図3】 一実施例に係る作用説明図である。

【図4】 一実施例に係る作用説明図である。

【図5】 一実施例に係る作用説明図である。

【図6】 一実施例に係る作用説明図である。

【図7】 他の実施例に係る要部斜視図である。

【図8】 さらに他の実施例に係る要部斜視図である。

2

【図9】 図8のIX-IX線矢視の要部断面図である。

【図10】 従来のブラケットの連結構造の斜視図である。

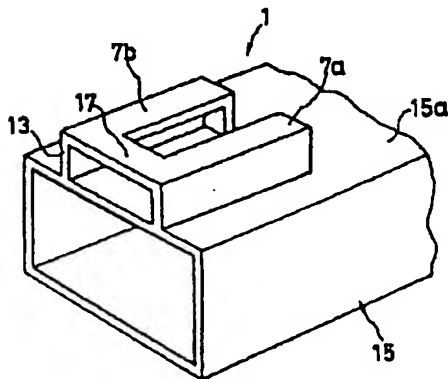
【図11】 従来のブラケットの連結構造の問題点を示す要部断面図。

【図12】 同じく従来のブラケットの連結構造の問題点を示す要部断面図。

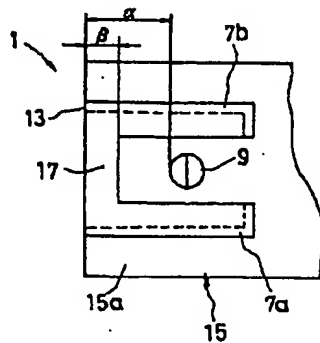
【符号の説明】

- 1 ブラケットの連結構造
- 5 板状ブラケット
- 7a ガイドレール
- 7b ガイドレール
- 9 係止突起
- 11 係合孔
- 13 挿入始端側
- 15 電気部品収納ケース（被取付体）
- 15a 上面（外面）
- 17 連結部
- 19 連結部

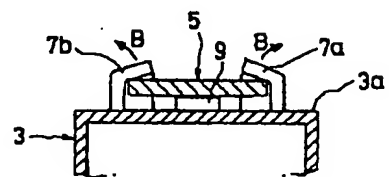
【図1】



【図2】

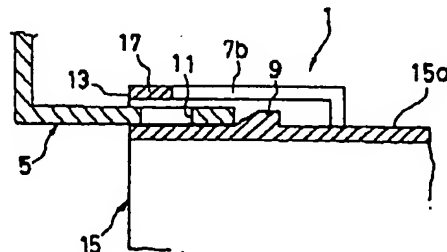


【図12】

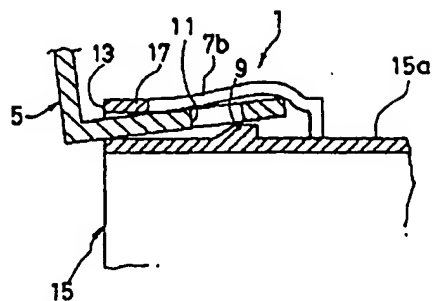


- 1 ブラケットの連結構造
- 5 板状ブラケット
- 7a ガイドレール
- 7b ガイドレール
- 9 係止突起
- 11 係合孔
- 13 挿入始端側
- 15 電気部品収納ケース（被取付体）
- 15a 上面（外面）
- 17 連結部
- 19 連結部

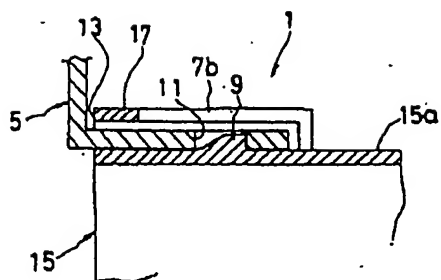
【図3】



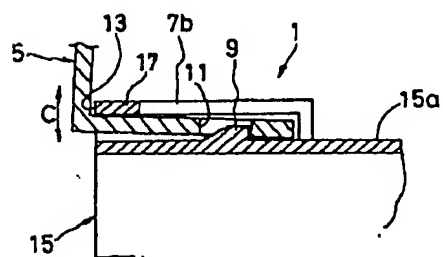
【図4】



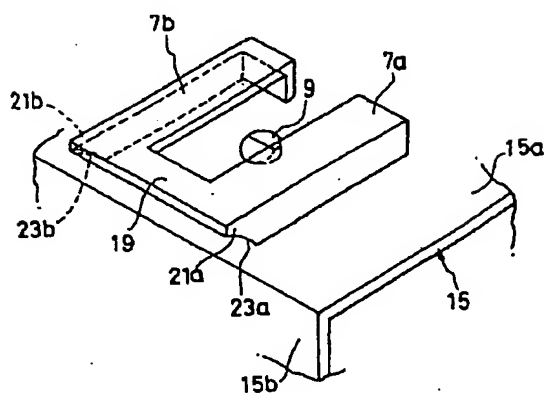
【図5】



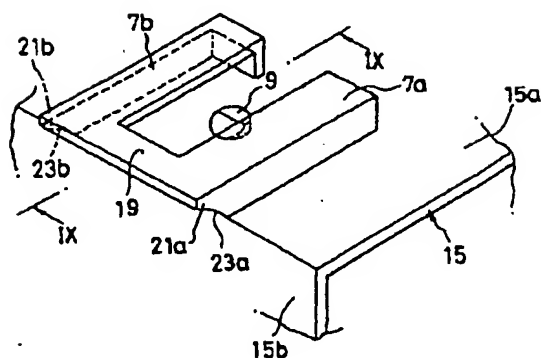
【図6】



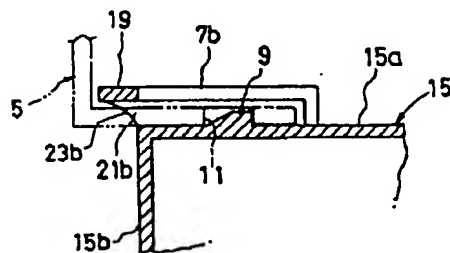
【図7】



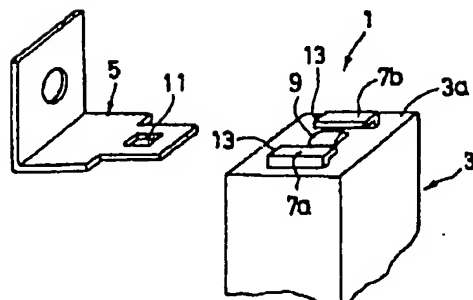
【図8】



【図9】



【図10】



【図 11】

